

日本年金学会創立 40 周年記念出版事業 論文公募のお知らせ

日本年金学会会員 各位

日本年金学会創立 40 周年記念事業 編集委員会

日本年金学会(以下「学会」)は 2020 年に創立 40 周年を迎えます。この 40 年の間、わが国は、世界に類のないスピードの長寿化・少子化の進行を経験し、激動の年金制度の変遷を見てまいりました。私的年金の分野でも、運用環境の変化、退職給付制度の変化等を経験し、大きく変わってまいりました。学会におきましても、時々の諸問題を議論するとともに、将来の方向を模索する研究を続けてまいりました。

来年創立 40 周年を迎えるに当たり、これらの議論・研究を一冊の本にまとめ、記念の一里塚とするとともに、将来の年金制度の在り方についての参考に資する事業を企画いたしました。そこで、学会の中に編集委員会が設置され、目次案を議論してきましたが、別添のような形に目次案がまとまりましたので、目次の各章について以下の要領で執筆者を募集いたします。是非多くの会員の方々の応募をお願いいたします。

<応募要領>

1. 応募は別添様式に記入して、学会事務局にお送りください。メールでお送りいただくのを主としますが、郵送でも構いません。
(メールアドレス) info@pension-academy.jp
(郵送宛先) 〒108-0074 東京都港区高輪 1-3-13NBF 高輪ビル 4F
公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構内
日本年金学会事務局 (封書に「40 周年記念論文応募」と記してください)
2. 応募締切: 2019 年 2 月 28 日 (必着)
3. 応募者は、応募用紙とともに別添様式「論文要旨」に記入 (3 ページ程度) のうえ、ご提出ください。応募様式・論文要旨等は次の URL からダウンロードしてご使用ください。
<http://pension-academy.jp/anniversary/40th/koubo.zip>
4. 3 月上旬に編集委員会で執筆者を選定し、執筆依頼をご連絡させていただきます。編集委員会は、応募者の論文要旨とともに日本年金学会誌における近年の論文等を含めて検討し、執筆者を選定する予定です。
5. 執筆にあたっては、本文中に「先行研究」ないし「本論文の主題に関する過去の経緯」を含めてください。
6. 最終原稿は各章 1 万 5 千字程度。2019 年 3~5 月に執筆者決定後、2019 年 11 月頃構想稿で編集委員と議論、2020 年 4 月頃最終原稿〆切、2020 年 10 月頃出版する予定です。

目次案

章	表 題	担当	備考
巻頭言		代表幹事	
第 1 部	公的年金制度		
1	公的年金制度を取り巻く環境と課題	公募	
2	長期就労と年金制度	公募	
3	非正規雇用と年金	公募	
4	外国人労働者と年金	公募	
5	マクロ経済スライドの在り方	公募	公的年金財政を含む
6	女性と年金	公募	
7	公的年金積立金の運用	公募	
8	公的年金制度に関する教育の在り方	公募	
第 2 部	私的年金制度		
9	公的年金制度・私的年金制度の役割分担	公募	年金制度体系論を含む
10	私的年金制度を取り巻く環境と私的年金制度の最近の動向	公募	受給権保護、ガバナンスを含む
11	年金と税制	公募	
12	企業と退職給付制度との関わり	公募	人事面・財務面での関わり
13	企業年金の資産運用	公募	ESG 投資、スチュワードシップコード等を含む
14	ライフプランと自助努力	公募	IRA,財形、住宅手当への言及を含む

(注) 公募分については応募の際に A4 版 3 枚字程度の要旨を提出すること (<http://pension-academy.jp/anniversary/40th/koubo.zip> からダウンロード可能)

(別添) 論文応募様式

会員番号	
ふりがな	
氏名	
連絡先：メール 連絡先：電話	
所属先名称	
部署・役職	
応募する章・題	
論文要旨	A4版3枚程度の要旨を添付すること (原則として別添のテンプレートを使用)

本様式は次のURLからダウンロード可能

<http://pension-academy.jp/anniversary/40th/koubo.zip>

日本年金学会 40周年記念書籍論文要旨テンプレートファイル

日本太郎

1. はじめに¹

日本年金学会は、Word ファイルでの研究発表要旨送付を受け付けている。投稿の際は、本テンプレートの設定に基づき作成のこと。使用するソフトは Word2003²を想定している。

2. 用紙とタイトル部の設定

原稿は、タイトル、著者名からなる1段組とする。原稿用紙は A4 サイズで縦方向に使用する。「余白」は、上 30 mm、下 25 mm、左右 20 mmとする。

一行あたりの文字数は 42 文字、1 ページあたりの行数は 40 行とする。(1 ページの最大数：42 字×40 行=1,680 文字)

(1) タイトル

2 行目以降に論文タイトルを MS ゴシック、16 ポイントで表示する。

(2) 著者名

タイトルから 1 行あけて著者名を表示する。設定は MS 明朝、11 ポイント、中央揃えとなっている。

3. 本文

本文は 1 段組とする。本文ページ設定の「文字数と行数」について主なものとしては、文字数を 42 文字、行数を 40 行にする。「余白」については、2 と同様に上 30 mm、下 25 mm、左右 25 mmとする。文字は 10.5 ポイントとする。

(1) 章見出し

章見出しの表示は「1. 論文 章見出し」で、MS ゴシック、12 ポイントとする。

(2) 節見出し

節見出しの表示は、「(1) 節見出し」で、MS ゴシック、11 ポイントである。

(3) 小節見出し

小節見出しの表示は「①論文 小節見出し」で、MS ゴシック、10.5 ポイントである。

(4) 脚注

Word の脚注機能を使用し、ページ内に表示する。番号は数字のみを使用する。脚注の文字は 8 ポイントとする。

(5) 参考文献

¹ 本テンプレートファイルは年金学会ホームページ上からダウンロード可能です。

<http://pension-academy.jp/anniversary/40th/koubo.zip>

² マイクロソフト社の登録商標です

同じ文献中の2行目は1字下げのため、ぶら下げで1字を設定する。

文字はMS明朝(英文はTimes New Roman)、9ポイント、段落の行間設定は「最少」で13ptとする。

4. 執筆要領

本テンプレートファイルによるものとする。

(1) 投稿用紙

A4サイズで3ページ程度(含図表)。テンプレートにもとづき、Microsoft Wordにて原稿を作成する。送付はE-mailによるものとする。

論文要旨の提出は2019年2月28日までとする(必着)。

(2) 論文の構成

タイトル、著者氏名、所属名、E-mailアドレス、本文、脚注、参考文献の順で構成する。

(3) 英文

英文タイトル、英文著者氏名、英文所属機関名を別途、学会誌掲載時に連絡する。

(4) 図表

図表・グラフ等は原則として本文中に記載するが、それが数ページに及ぶ場合には、末尾にまとめて記載する。タイトルには、「図1」「表1」のように通し番号をつける。図表は他者の図版を使用する場合は著作権者の了解を得、出典を明示する。表のタイトルはその上部に、図のタイトルはその下部に書く、説明文はいずれも下部に書く。

また、図表については、元になった画像データ、表、グラフなどを原稿に別添のファイルとして送付する。

(5) 数式

数式については、できるだけ簡潔な表現を使うこと。変数名は通常、半角イタリックを用いる。番号を付ける場合は、数式の右側に…(1)、(1-1)のようにする。Word付属の数式エディタを使用してもよい。

(6) 先行研究

本文中に「先行研究」ないし「本論文の主題に関する過去の経緯」を含めること。

(7) 引用

他の著作物から引用する場合は、本文中または注の該当箇所に著者名(西暦)のようにする。

例1 大内(1950)

例2 Stiglitz(1989)

参考文献は、引用した文献のみで構成する。参考文献リストは、論文末にまとめて掲載する。日本語文献(姓のあいうえお順)、外国語文献(Family NameのABC順)の順とする。著作名、雑誌名は『』、論文名は「」で括る。英数字、括弧(), コロン(:)は半角文字を使用する。

例 和文文献の場合

<参考文献>

[1] 年金一郎(2004), 「企業年金におけるリスク管理」, 『日本年金学会誌』, 第〇〇号, 15-25.

[2] 厚生労働省(2010), 『平成21年財政検証レポート』, 厚生労働省年金局数理課, 225-300.

例 欧米語文献の場合

<参考文献>

- [3] McGill, D.M. et al. (2005), "*Pension Accounting*," in *Fundamentals of Private Pensions - Eighth Edition-*, Oxford University Press, 712-734.
- [4] Wooten, J.A. (2004), *The Employee Retirement Income Security Act of 1974 –A Political History-*, University of California Press

注意点：

- ・著者名（複数の場合は第一著者）は「ファミリーネーム，ファーストネームのイニシャル」の順番で記述する。
- ・書籍名，雑誌名は原則として斜体（イタリック体）で記述する。
- ・インターネット上の文献・資料等の場合
著者名(発行年)「タイトル」URL

(8) 文体

文体は「である調」、文字は新仮名遣い、当用漢字を原則とする。

(9) 文字

句読点は「、」と「。」とする（邦文の場合は全角文字とする）。英数字は半角文字とする。半角カタカナは不可。

(10) 製版方法

本文・図表とも著者原稿のまま写真製版する。最終原稿では頁番号をふらずに提出する。